

墓地対策

忠魂墓地対策の今後は

遺族と協議を重ね考える



山崎 正男 議員
やまさき まさお

問 黒潮町の忠魂墓地の対策について町の見解を聞く。

現在、佐賀の忠魂墓地は戦後68年が過ぎ、個人墓地への移転もあり遺族の高齢化や減少化で、墓地の維持管理ができていく状態になってきている。この忠魂墓地の管理は各地区の遺族会等で対応していると思われるが、この墓地のあり方や遺族会との協議について、また戦没者の追悼も踏まえ、町の今後の考え方を聞く。

答 植田副町長

黒潮町内における戦没者忠魂墓地は、13カ所、忠霊塔は2カ所。そのうち佐賀地域にある忠魂墓地は12カ所、忠霊塔が1カ所と認識している。忠魂墓地は、ご親族によってその管理等が引き継がれていることが最良ではないかという基本認識を持っている。けれども多くの戦没者の方々が、ご親族の墓地に改装されている実態もある。さらに遺族会の方々もご高齢となり、墓地の管理については大変なご苦労をされていると推察している。

これまで行政施策として各遺族会に補助金等も交付し、維持管理に一部が活用されていると認識している。今後の対応策は、遺族会の方々とともに十二分に協議を重ねながら、

最良の方策を考えていきたい。

環境整備

支所前溝の緊急処理を

計画に乗せて実施予定

問 現在佐賀支所前の溝が河川近くで泥が堆積し、それに雑草が密殖し溝の流れが悪くなっている。緊急処理をするか。来年度の予算に計上するか。早急に対応すべきではないか。

答 村越地域住民課長

佐賀支所前の排水路は、今年度の地域整備事業として計画に乗せて事業実施予定。年度内での作業実施により対応できる見込み。

問 浜町から明神に至る溝は、水の流れが悪いのか。汚水の匂いがかなりあると感じている。町の排水路の整備計画を立てて取り組むべき課題と思うが、町の方向性はどの

ようになっているか。

答 今西建設課長

この道路の管理者である幡多土木事務所に、今後要望していきたいと思う。地域の生活排水すべてを道路管理者、あるいは行政で行うのはなかなか難しい課題があるので、住民力を借りながら対応したい。

が、形状の変更等で安全策は取れないか。

答 今西建設課長

幡多土木事務所とガードレールの設置を含め、協議を行うとともに町道管理者として舗装や縦断変更等ができないか、来年度において検討し対処したいと考えている。

その他の質問

- ※ 財産管理について
- ※ 漁業の振興策について



佐賀総合支所周辺